



交流拠点都市
美祿市
MINE CITY

みね 議会だより

第14号 平成26年(2014年) 12月1日発行



東大寺サミット2014 in みね

m.

This Mine Is Mine

主催・東大寺建立にかかわった市町村サミット実行委員会

協力・東大寺



東大寺サミット2014 in みね (10月25日 美東体育館) 美東中学校による太鼓演奏

主な内容

- 9月定例会 2 ~ 4
- 一般質問 5 ~ 13
- 委員会報告 14 ~ 16
- 12月定例会日程 16

おしらせ

平成26年度 第2回 議会報告会 が開催されます。

18:30~20:30 (予定)

12月 3日 美祿産業技術センター

12月 4日 嘉万公民館

12月 5日 赤郷公民館

※どの会場でもどなたでもご参加いただけます。



第3回定例会は9月1日(月)に開会し、平成25年度美祢市水道事業会計決算の認定について、平成26年度美祢市一般会計補正予算について、及び美祢市中小企業融資制度に関する条例の制定についてなど、合わせて16議案が上程されました。

各議案は、教育経済委員会(9月4日)、総務民生委員会(9月5日)及び予算委員会(9月11日)にそれぞれ付託され、集中審議されました。その後、9月22日(月)に開催した本会議において、全ての議案に対する討論・採決が行われ、原案の通り可決・認定しました。

また同日、執行部から報告3件及び平成25年度の一般会計、特別会計決算の認定に係る議案8件、並びに議員から意見書案が追加上程されたことから、それらの審議を行うため、決算審査特別委員会を設置し、本定例会の会期を9

月30日(火)までの8日間延長しました。

9月22日に追加された議案のうち、議員提出意見書案第1号「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について」は、同日の討論・採決の結果、全会一致で可決しました。

また、平成25年度各決算に関する議案8件については、決算審査特別委員会(9月24日、25日)に付託して集中的に審議を行い、25日には市長出席のもと総括審議を行いました。

これらの議案については、9月30日(火)に開催された本会議で討論・採決を行い、すべての議案について、原案のとおり認定し、同日閉会しました。

なお、このなかに9月10日(水)及び26日(金)には議会改革推進特別委員会を開催しています。(委員会報告P14~16)

審議された議案等

報告について

○報告第1号 平成25年度の決算に係る健全化判断比率について

- 実質赤字比率及び連結実質赤字比率(一般会計及び市全体の赤字の程度を示す)は、黒字のため該当しません。
- 実質公債費率(借入金の返済額などの財政負担比率)は、前年度同様15.5%となり、早期健全化基準の25%を下回っています。
- 将来負担比率(実質的な将来負担額の比率)は、前年度より22.2%改善し、106.8%となり、早期健全化基準の350%を大きく下回っています。

○報告第2号 公営企業の平成25年度の決算に係る資金不足比率について

観光事業は前年度より20.7ポイント改善し、資金不足比率が39.8%となりました。なお、他会計での資金不足は生じていません。

○報告第3号 平成25年度美祢市観光事業特別会計経営健全化計画の実施状況の報告

資金不足額は計画を下回りましたが、単年度では1億8,886万円の黒字となりました。

決算の認定について

○議案第1号 平成25年度美祢市水道事業会計決算の認定について 原案認定

収益的収支は下記のとおりです。

上水道事業	収入 2億2,438万7,684円 支出 2億5,353万7,390円
美祢簡易水道事業	収入 1億5,073万7,867円 支出 1億1,370万9,247円
美東簡易水道事業	収入 9,106万5,746円 支出 8,978万6,968円
秋芳簡易水道事業	収入 1億4,128万8,239円 支出 1億3,959万6,174円

この結果、当年度純利益は449万9,785円となりました。

○議案第2号 平成25年度美祢市病院等事業
会計決算の認定について 原案認定

収益的収支は下記のとおりです。

病院事業	収入	33億 927万 4,710円
	支出	34億 8,810万 544円

入院75,019人/外来82,175人

介護老人保健 施設事業 (グリーンヒル美祢)	収入	3億 6,544万 8,678円
	支出	3億 5,238万 4,285円

入所25,091人/通所4,600人

訪問看護事業	収入	4,092万 3,676円
	支出	3,821万 3,767円

利用者4,622人

この結果、当年度純損失が1億6,440万9,822円となりました。

○議案第4号 平成25年度美祢市公共下水道
事業会計決算の認定について 原案認定

収益的収支は下記のとおりです。

公共下水道事業	収入	4億 5,784万 6,017円
	支出	4億 3,253万 3,761円

この結果、当年度純利益は2,941万6,800円となりました。

○議案第17号 平成25年度美祢市一般会計
決算の認定について 原案認定(賛成多数)

歳入総額が約173億8,708万円、歳出総額は約163億6,061万円となりました。

○議案第18号 平成25年度美祢市国民健康
保険事業特別会計決算の認定について
原案認定(賛成多数)

歳入総額が約39億643万円、歳出総額は約36億8,125万円で、差引額の約2億2,518万円は次年度に繰り越します。

○議案第19号 平成25年度美祢市観光事業
特別会計決算の認定について 原案認定

歳入総額が約5億9,152万円、歳出総額は約8億6,623万円で、差引額約2億7,470万円の歳入不足となりました。

なお、前年度繰上充用額を除いた単年度収支は、約1億8,886万円の黒字です。

○議案第20号 平成25年度美祢市環境衛
生事業特別会計決算の認定について

原案認定

歳入・歳出総額ともに同額の約2,286万9千円となりました。

○議案第21号 平成25年度美祢市住宅資金
貸付事業特別会計決算の認定について

原案認定

歳入総額約195万円、歳出総額約3,071万円で、約2,875万円の歳入不足となりました。

○議案第22号 平成25年度美祢市農業集落
排水事業特別会計決算の認定について

原案認定

歳入・歳出総額ともに同額の約2,722万6千円となりました。

○議案第23号 平成25年度美祢市介護保
険事業特別会計決算の認定について

原案認定(賛成多数)

歳入総額31億3,664万円、歳出総額約31億2,573万円で、差引額は約1,090万円となりました。

○議案第24号 平成25年度美祢市後期高齢
者医療事業特別会計決算の認定について

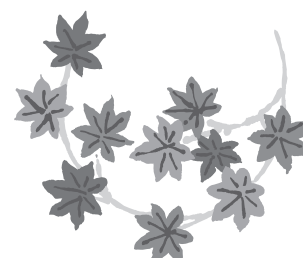
原案認定(賛成多数)

歳入総額が約4億1,193万円、歳出総額は約4億1,068万円で、差引額は約125万円となりました。

○ 剰余金の処分について

○議案第3号 平成25年度美祢市公共下水道
事業剰余金の処分について 原案可決

単年度未処分利益剰余金約6,078万円のうち、減債積立に1,000万円、建設改良積立に2,000万円を積み立てるものです。



補正予算について

○議案第5号 平成26年度美祢市一般会計補正予算(第3号) 原案可決(賛成多数)

美祢有線テレビの自主放送をデジタル放送に切り替えるための経費や、ふるさと美祢応援寄附金事業の贈答品代などを含む、総額で1億3,060万を追加補正するものです。

○議案第6号 平成26年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 原案可決

平成25年度事業の精算結果により、歳入歳出それぞれ1,090万円を追加するものです。

○議案第7号 平成26年度美祢市水道事業会計補正予算(第1号) 原案可決

四郎ヶ原簡易水道及び川東簡易水道を上水道に統合するための実施設計委託料として、1,830万円を追加するものです。

条例の一部改正について

○議案第8号 美祢市福祉事務所設置条例の一部改正について 原案可決

本条例で引用する法律名の改称に伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第12号 美祢市火入れに関する条例の一部改正について 原案可決

本条例で引用する気象庁の天気予報用語の変更に伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第14号 美祢市水道事業の設置等に関する条例及び美祢市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について 原案可決

新地方公営企業会計制度への移行に伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第15号 美祢市病院等事業の設置等に関する条例の一部改正について 原案可決

本条例で引用する医療法が改正されたこと、及び新地方公営企業会計制度への移行に伴い、所要の改正を行うものです。

条例の制定について

○議案第9号 美祢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

原案可決(賛成多数)

○議案第10号 美祢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 原案可決(賛成多数)

○議案第11号 美祢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 原案可決

子ども・子育て支援を総合的に推進するための「子ども・子育て支援制度」が実施されることに伴い、条例を制定するものです。

○議案第13号 美祢市中小企業者融資制度に関する条例の制定について 原案可決

地域の経済情勢を鑑み、事業者への支援策として本市単独の融資制度を創設するため、本条例を制定するものです。

その他の議案について

○議案第16号 美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更について 原案可決

観光またはレクリエーション等、事業計画の一部について変更されたものです。

議員提出議案について

○議員提出意見書案第1号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡大を求める意見書の提出について 原案可決





(友善会)

つばい やすお
坪井 康男 議員

1 美祢市監査委員による「財政援助団体等」に対する監査の実施状況と問題点について

問 美祢市監査委員の監査対象である「財政援助団体」に対する監査は、平成20、21年度は実施されていませんが、平成22年度以降は実施されています。なぜ、監査の必要があると認識されるようになったのか、その経緯についてお尋ねします。

答 この監査の実施については、ますます厳しくなる本市の財政状況を鑑みて、より厳しいチェックが必要であると判断したことから、本市が補助金等を交付している団体に対する監査に取り組むことにしたものです。

問 平成25年度中に、道の駅おふくの指定管理者である美祢観光開発(株)の監査が実施されています。その監査結果はどのようなものでしたか。

なお、この時期の同社は赤字続きで、3,000万円の資本金が僅か50万円弱に目減りして債務超過寸前の状態でした。

答 指定管理部分の監査を実施し、おおむね適正に処理されていたという監査結果になっています。

問 平成22年度の観光総務課への定期監査の際に、指定管理施設である秋吉台家族旅行村への監査が行われていますが、その時の監査結果はどうでしたか。

答 これは、観光総務課に対する定期監査の一環として、監査委員事務局長が平成21年度指定管理施設事業報告書の再提出を観光総務課に依頼し、秋吉台家族旅行村修正報告書を受理したものです。

したがって、秋吉台家族旅行村の監査結果報告書はございません。

2 美祢市所有の分譲住宅〔来福台〕の評価額見直しと今後の問題点について

問 分譲価格を見直し、値下げを公表してから約1ヶ月経ちますが、反響はいかがですか。

答 この1ヶ月の間に個人の方から5件、住宅メーカー等から7件、計12件のお問い合わせがありました。そのうち、2名の方から正式な購入の申込書が提出されています。

問 来福台の土地を過去に高い価格で購入した住民にとっては、今回の値下げ発表は極めて唐突で、行政に不信感を訴える人たちがいます。行政としてこのような人たちへの対応を何かお考えでしょうか。

答 今回の分譲価格の見直しは、人口減少に歯止めをかけ、人口定住を促進していく上で最も有効な施策として、総合的に判断した結果です。既に、土地を購入された皆様には、この趣旨を十分ご理解賜りたいと思います。

なお、固定資産税については、来福台の分譲開始からこれまで、毎年の時点修正をした評価額に基づき、適正な課税を行っています。

3 「がんばる地域交付金」の交付実績について

問 国からのいわゆる「がんばる地域交付金」について、本市はどのような事業に対していくらの交付額となりましたか。また、交付率は40%に達しましたか。

答 本市の対象事業は、農地・道路・河川等の災害復旧などの事業費で、事業総額2,313万3,000円に対し、交付限度額は654万7千円となり、交付率は28.3%でした。

4 犯罪被害者等支援条例制定事務の進捗状況

問 事務の進捗状況について、お聞かせください。

答 本条例制定にあたっては、県の動向や他市の状況把握に努め、引き続き十分検討していく方針です。



(純政会)

しもい かつみ
下井 克己 議員

1

観光立市に向けての観光施策について

問 ランタンナイトフェスティバル開催事業及び明治維新150周年に向けての誘致活動について、どのように進めていくのかお尋ねします。

答 美祢ランタンナイトフェスティバル開催事業は、従来のアンモナイトフェスティバルに代わる新規事業です。事業の趣旨は、地域が持つ豊富な資源の中から、美祢市・山口県の魅力を再発見し、それを広く発信して地域振興の一助とすることです。

当日は本市の特産品、B級グルメ、またジオパーク等の事業紹介が行われ、ランタンで埋め尽くされた会場でプロジェクションマッピングなども行われるようです。(9月27日(土)開催)

次に、明治維新150周年に向けての誘致活動については、美祢市観光協会が10月4日に、明治維新発祥の地である「大田・絵堂の戦い」をテーマに「維新フォトログ第1幕」として、奇兵隊の本陣跡(美東町大田の金麗社)を主会場に開催します。

また、来年1月には大田・絵堂戦役150周年記念実行委員会の主催で、「大田・絵堂行軍ウォーク」を、さらに3月には顕彰碑の建立も予定しています。

問 観光イベントのアイデアを、10～20代の若い世代から募集されてはどうか。また、他の自治体では女子観光プロモーションチームという女性だけの組織もあり、成果を上げていますが、本市でも検討してはいかがでしょうか。

答 現在、次期観光振興計画の策定にあたり、アンケート調査などによる意向把握

に努めています。多世代からのアイデア募集は、重要なものと認識していますので、今後検討してまいりたいと思います。

また、女子観光プロモーションチームについては、面白い提案だと思いますが、懸念材料もありますので、他自治体の事例などを調査研究したいと考えています。

2

秋吉台科学博物館について

問 秋吉台科学博物館をジオパーク拠点施設と位置づけ、ジオパーク拠点施設将来構想検討事業、及びジオパーク拠点施設活動充実事業を予算化されていますが、この2つの事業についてお尋ねします。

答 将来構想検討事業については、今後検討委員会を設置し、将来構想について検討を始める準備段階にあります。

また、活動充実事業については、博物館の活動や人材育成、さらに展示施設の改修、学術研究の一層の向上のために必要な経費等に充てるためのもので、重要な施策と考えています。

なお、秋吉台科学博物館は、事務室、エントランスを改修し、ジオパークに関する展示コーナーを新設しています。

問 秋吉台科学博物館を建て替える時期に来ているのではないのでしょうか。市の方針やお考えをお聞かせください。

答 今後、ジオパーク拠点施設将来構想検討委員会や議会から意見をいただき、Mine秋吉台ジオパークの拠点としてふさわしい施設にするため、議論を深めてまいりたいと考えています。



ランタンナイトフェスティバル



(政和会)

 なおの ともかず
猶野 智和 議員

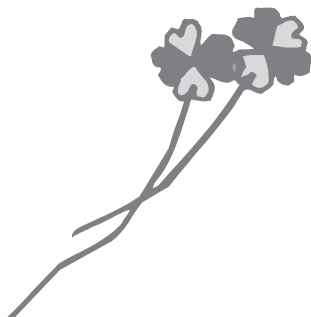
1 秋吉簡易水道の硬度低減化への取り組みについて

問 昨年夏、秋芳町北部から湧き出る良軟水を秋吉簡易水道まで引き込むことに関する署名活動が行われ、同年9月2日、市長へ秋吉簡易水道の水質改善を求める要望書が提出されました。この要望書への対応に関する進捗状況と今後の予定についてお尋ねします。

答 市としては、この要望書の内容を非常に重たく受け止め、要望にあった秋芳町北部地域において、本年、良軟水確保に向けた新水源のボーリング探査を数カ所で行いましたが、いずれの地点からも混合希釈（ブレンド方式）に必要な水量を得ることができませんでした。

しかし、旧嘉万簡易水道の麓水源の揚水試験を実施したところ、水量は不足しているものの、硬度、水質については良好であるとの結果が得られました。

したがって、他の水源から水量を補えば混合希釈方式の実現性が高いと判断し、現在使用している水源の余裕水量の確認、また、この方式にかかる初期投資や保守点検費等の試算を進めています。これについては、ペレット方式との比較検討ができた段階で改めて報告させていただきます。



2 美祢市水道事業の料金体系の統一について

問 美祢市水道料金体系統一の先駆けとして、給水負担金の統一を検討すべきではないでしょうか。

答 今後、給水負担金につきましては、金額の統一を進めていくことを検討させていただきます。



水源地

3 市外観光業者との提携・誘致について

問 県内の主な観光協会には大手旅行会社出身者が在籍し、前職での知識・経験・人脈を駆使して活躍されています。

美祢市も他市と同様、公募などにより広く人材の登用を考える時期にきているのではないのでしょうか。

答 現在、関係機関と非常に前向きに検討しているところです。今後、人材登用に伴う人件費の増について、どういう形で執行するのが良いかなど、議会にお諮りする機会があると思います。

問 本市には企業立地奨励条例があります。しかし、観光立市を掲げているという観点から、更に一步踏み込み、全国に先駆けて新たに観光産業奨励条例を制定し、観光関連企業の誘致・育成に力を入れてみてはいかがでしょうか。

答 観光に特化した振興条例や、奨励条例等の制定について考える時期が来ていると思います。担当部署に調査や準備等の指示を出したいと思います。



(純政会)
いわもと あきなか
岩本 明央 議員

1 美祢市の今後の畜産振興について

問 山口県育成牧場は、平成27年3月31日をもって廃止される計画ですが、跡地、建物、施設設備等の活用または廃止撤去等の計画について、県の方針をお尋ねします。

答 活用方法については、山口県畜産振興課、JA山口美祢の畜産部会、大規模畜産農家等と協議していますが、今のところ、良い方策はないようです。今後利用の見込みがなければ、速やかに施設の撤去を行う計画であると聞いています。

問 牛肥育農家では、最近の素牛、優良繁殖雌子牛及び母牛の市場価格の高騰に伴い、
・肥育用素牛導入事業利子補給金の拡充
・優良繁殖雌子牛導入保留奨励事業補助金の拡充
・優良繁殖母牛導入事業利子補給金の新設
などについて、要望される多くの声があります。

このような実情を踏まえ、平成27年度の予算措置及び事業計画について、どのようにお考えかお伺いします。

答 来年度から、合併算定替の逡減期間を迎えるため、厳しい予算状況にありますが、畜産農家の方々が使いやすい予算になるよう、JA山口美祢とも十分に協議を進めていきたいと思ひます。

問 最近、家畜用飼料作物として、水稻を早めに刈り、ロール・ラッピングした発酵飼料(WCS)が畜産農家に大変喜ばれています。水田を保全する観点からも、家畜用飼料作物の作付け推進を図ってはいかがでしょうか。

答 WCSを作付することで、国から交付金も支払われますが、農家が初期投資として、ロール・ラッピング状にするための機械を

購入する必要があります。

今後、畜産農家及び飼育用稲の生産農家との調整を行い、作付けの推進を図っていきたくと思ひます。

問 国の青年就農給付金事業として、要件を満たす新規就農者に対し補助金が給付されていますが、美祢市版「新規就農支援事業」を新設し、更なる農業振興を図ってはいかがでしょうか。

答 本市においては、畜産に新規就農された2名に対し現在給付を行っています。ご提案の事業新設については、予算状況から困難であると考えます。

問 輸出できる農産物の生産振興策等の条例制定について。

安倍内閣は、農林水産物の輸出振興に力を入れていかれる方針です。また、村岡県知事もこの度「やまぐち産業戦略推進計画」第一次改定版で、世界各国の富裕層をターゲットにした、安全・安心の食品の輸出を伸ばしていきたいとおっしゃっています。

本市も国や県の方針のもと、畜産振興や輸出品振興に力を入れてはいかがでしょうか。

答 美祢市六次産業化基本計画には、地域の資源を活かした産業振興、ブランド品の開発や新販路の開拓、産地のアピールなどを戦略に掲げており、その中の一部として、海外物流の確立支援、台北での商品PRなども考えています。

今後、農業者の皆様や関係機関・団体との連携を図り、目標達成に向け取り組んでいく考えです。





(新政会)

あらかやま みつひろ
荒山 光広 議員

1

宇部興産(株)伊佐セメント工場の引込線について

問 引込線の現状と再稼働の可能性について、お伺いします。

答 美祢線は開通以来、貨物輸送が盛んに行われてきましたが、近年では、宇部興産株式会社伊佐セメント工場が引き込み線を利用され、JR美祢線、山陽本線、山口線を経由して鳥根県浜田市の中国電力三隅発電所があるJR山陰本線岡見駅までの1往復のみ運行されていました。

しかし、これも昨年7月28日に発生した豪雨災害により、山口線の一部区間が不通となったためトラック等の輸送方法に切りかえられています。

また、関係企業の宇部興産株式会社伊佐セメント工場、中国電力株式会社にJR山口線全線復旧後の輸送手段について確認を行ったところ、「現在のところ未定である」との回答を受けています。

しかしながら、美祢線沿線3市(美祢、長門、山陽小野田)で構成するJR美祢線利用促進協議会は、この貨物利用も美祢線利用促進の柱の一つとしていることから、両社に対し鉄道貨物輸送再開に向けての要望書を3市長の連名により、本年2月に提出しました。

その後、中国電力株式会社より、平成26年度のJRによる貨物輸送について、企業間の契約の更新は行わない旨の回答をいただいておりますが、これは、本年度に契約更新がなされないものであり、平成27年度以降は不明であるため、正式な廃止には至っていないというのが現状です。

再稼働の可能性については、当該企業の方針

等により判断されるものですが、鉄道貨物利用の促進については、これからもJR美祢線沿線3市が共同して推進したいと思っています。

問 美祢駅の貨物ヤードから伊佐セメント工場までの間に自動車が行き交う踏切が4カ所あります。交通安全の面から行政として何らかの対策がとれないか、お伺いします。

答 「貨物車両が踏切を通行しないことが明白であるのになぜ踏切手前で一時停止をしなければならないのか」といった市民からの声が美祢警察署に寄せられており、警察署でも安全対策に苦慮されていると伺っています。

道路交通法では、自動車用の信号機付きの踏切で青信号が表示されている場合を除き、踏切の種類や列車の運行に関係なく、踏切手前で一時停止と左右確認が義務づけられており、本踏切付近においても法令を遵守していただく必要があります。

交通安全対策を推進する市としては、交通事故の防止、安全対策を第一に考え、道路を管理する山口県や警察等関係機関と協議を進め、可能であれば引込線の関係者にもその協議に参加していただきたいと考えています。



伊佐セメント工場引込線の踏切



(政和会)
たけおか まさはる
竹岡 昌治 議員

1 第三セクターの存続可否について

問 国は平成21年4月に地方公共団体の財政の健全化に関する法律を施行し、5年間で、第三セクター等の抜本的改革を集中的に行う通達を出しました。しかし、この度国は大きく軌道修正をしたと伺っています。その内容と市長の受け止め方並びに今後の方針についてお伺いします。

答 前回の指針は、第三セクターの存続の可否を含めた抜本的改革を要請していたことに対し、本年8月5日付で総務省が発表した新たな指針では、効率化並びに経営健全化に加え、地域の元気創造のために第三セクターを活用することについて併記してあります。

これを受け、本年10月には、外部の専門家で組織する第三セクター改革推進委員会を立ち上げ、そこで美祢市の指針を策定すると同時に、定期的に第三セクター等の経営状況の確認を行っていただきたいと考えています。

問 国は経営責任の明確化と徹底した効率化を求めています。中でも組織体制の確立、サービス、責任、会計及び資金管理・運用等に市は指導、監督等の方法や基準を策定するよう求めています。

第三セクターのマネージメントの指導監督について、いかがお考えでしょうか。

答 外部委員に入っただき、指導方法や市が関与すべき範囲なども含め、十分に精査をしたいと思っています。

問 道の駅おふくのトイレを施設外に移して現在のトイレの位置を売り場やパブリックスペースとして利用し、一体感のある施設に模様替えしてはいかがでしょうか。また、広場を利用

し売り場の拡張を図ることなどについて、市長はどのようにお考えですか。

答 道の駅おふくについては、長期的なビジョンの中でどの程度の改善、改良を行なうかということについて、段階を追ってお示しする必要があると思います。

私は、この施設が必要だと確信しており、市自体が常に努力し、人が来てくださるような環境を維持し続けたいと考えています。

2 オラレ誘致について

問 厚保駅や於福駅では駅舎を利活用され、美祢線の利用拡大に限らず、地域の活性化に多いに貢献していると伺っています。

この度、美祢駅舎も利活用されるお考えのようですが、美祢線の利用客増大策を考慮して美祢駅に「オラレ（場外舟券売り場）」を誘致し、ポケットパークに駐車場やトイレの設置をされてはいかがかと思いますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

答 厚保駅と於福駅は改良を加え、交流ステーションとして運営し、非常に良い評価をいただいています。

この度、美祢駅を利用する方々に対し、本市の情報発信等を行うため、JRのご理解を得て、駅舎を利用させていただくことになりました。

「オラレ」については、中心市街地を形成するうえで、地元にお金が入り、人を呼び込めるといったメリットがあります。しかし、設置については、青少年の健全育成やボートレース振興会、下関市との関係など、行政として多くのことを考えなければいけないということもご理解ください。





(純政会)

やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1 有害鳥獣の被害に対する取組と対策について

問 有害鳥獣被害に対する取組と被害状況についてお尋ねします。

答 捕獲対策では、年間を通じてイノシシ・鹿の捕獲委託を美祢・美秋猟友会の協力を得て実施しています。

また、防護対策では、国の補助を受け集落や法人等が防護柵を設置する際の資材を提供しています。

しかし、被害の減少には至ってはならず、特に猿への対策は追い払いしか有効な手段がなく困難を極めています。

問 野生獣類を追い払うことを目的として訓練された犬(モンキードッグ)の導入についてお尋ねします。

答 モンキードッグによる追い払いは、猿にとって直接危害を受けるという恐怖感を与えるため、効果が長続きするという利点があります。

この養成方法は、警察犬訓練士が地域で飼われている犬を3～4ヶ月間、猿に向かって吠え、追いかけ、追い払った後、命令により飼い主の元に戻ってくるという服従訓練を行います。県内でも5市で41頭のモンキードッグが養成されていますが、本市も今後、集落から要望があれば検討してまいります。

2 老朽化する公共施設の補修、統廃合後の校舎等の維持管理について

問 市内の公共施設は利用者が減少するとともに老朽化も進行していますが、今後補修も含めてどのようにお考えでしょうか。

答 本年3月、公共施設のあり方検討委員会条例を制定し、8月20日同委員会を設置しました。

現在、この委員会において、まちづくりの観点や施設の利用の利便性、総合的視点、また専門的見地を踏まえた美祢市公共施設等総合管理計画の策定等について諮問を行っているところです。

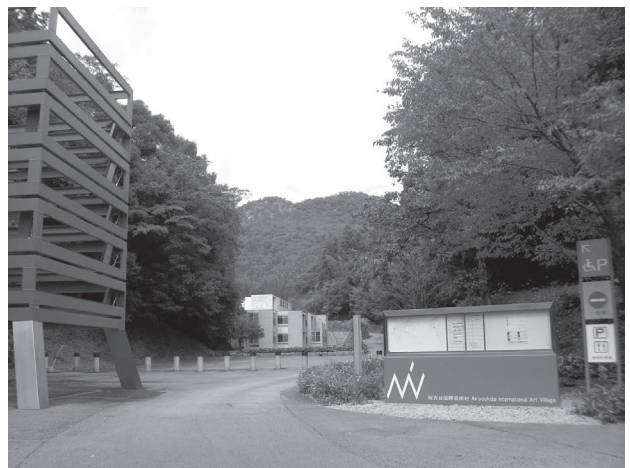
3 国際交流について

問 台湾との国際交流の進捗状況と、今後どのような方向にこの交流を進めていくつもりかお尋ねします。

答 平成23年11月に台湾との実質的な交流がスタートしました。当初は行政主導で始めましたが、次第に民間団体や次世代を担う中学生にも交流の輪が広がり始めています。他のアジア諸国との関係も構築し、交流拠点都市美祢市として活性化に努めてまいります。

問 美祢市には秋吉台国際芸術村という海外に向けての素晴らしい発信基地があります。市と協力し合うことにより、海外への絶え間ない情報発信、魅力的な映像発信を行い、国際交流を進めながら観光振興にも結びつけていくことができるのではないのでしょうか。

答 国際化に対応するためにも、多言語での情報発信が重要であり、関係機関との協力関係構築に向けた協議を行ってまいります。



秋吉台国際芸術村



(日本共産党)
三好 睦子 議員

1 ゴミ収集、ゴミ処理の実態について

問 現在、不燃物ゴミ30kgの持ち込み料金は、秋芳地域で225円、美祢地域では100円、美東地域では1,000円です。早急に料金を安い方に統一できないでしょうか。

答 合併から既に6年が経過する中、同じ市民として同様のサービスが受けられるよう、手数料の統一化については前向きに検討します。

2 事業系ゴミの実態について

問 美祢市廃棄物の処理及び清掃に関する条例では、

- ・事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。
 - ・また、多量排出事業者等に対する指示項目には市長は、多量に一般廃棄物を排出する事業者等として規則で定める者に対し、当該事業者等が排出する一般廃棄物の減量に関する計画の作成、当該一般廃棄物を運搬又は処分すべき場所及び運搬又は処分の方法その他必要な事項を指示することができる。
- 等々列記してあります。

市は、事業所が事業系ごみとしての正しい出し方ができるように、指導や方法を考えていくべきではありませんか。お考えをお尋ねします。

答 これは、事業所の定義、規模、出されるゴミの量等の基準を含めて定めていかなければいけない非常に微妙な要素を含んだ問題だと考えています。すべてを形どおりにやることは現実的には困難ですが、今後適正化が進む

よう努めていきます。

3 国民健康保険税の引き下げについて

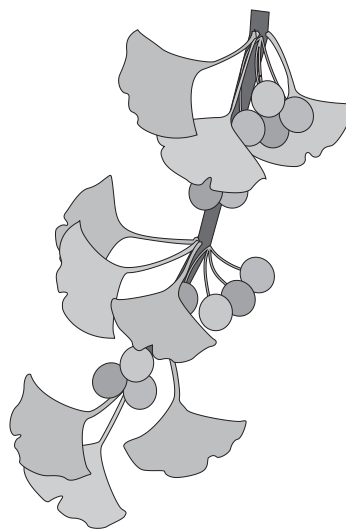
問 国民健康保険事業特別会計の基金は、平成24年度で約2億5,600万円です。

数年前の国の規定では、基金の額は給付費の3年間の平均の5%あれば良いということでしたが、この規定を参考にすれば、基金は1億3,000万円が良いことになります。

国保税の一部を基金で賄えば、税を引き下げることができます。また、一般会計から法定外繰入れをするなどして、国保税を払いやすくし、国保世帯の命と暮らしを守るべきと考えますが、引き下げをされるお考えはありませんか。

答 医療給付費が増加傾向であり、さらに高齢化も進んでいます。また、国・県・他の保険制度からの負担金、交付金の精算調整などから単年度の会計で大きな歳入減額が起こることも考えられるため、基金の取り崩しについては、中長期的な視点で適正な運用を検討すべきと考えています。

また、一般会計から法定外繰入を行うことは市の財政運営にも影響があり、一般会計の状況も含めて慎重に協議することが必要と考えています。





(公明党)
おかやま 岡山 たかし 隆 議員

1 美祢市内の障がい児受入れ施設の支援事業に関して

問 障がい児の発達支援事業とは、放課後等において施設利用を通じて居場所を提供する児童デイサービスのことです。本市には県内13市で唯一、障害児通所支援事業である放課後デイサービスがないため、近隣市へ保護者等が送り迎えされています。

今後、放課後等デイサービスを市直営か社会福祉法人等に事業委託により実施されるお考えがあるかお伺いします。

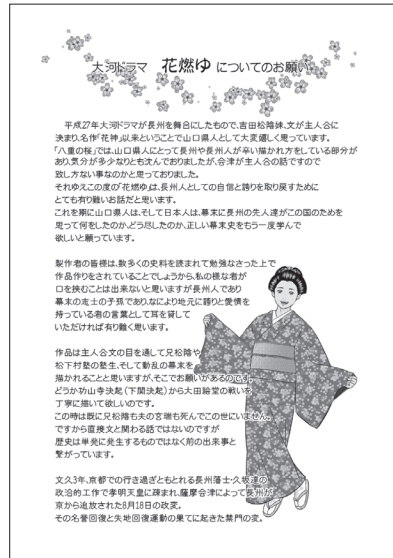
答 本市では夏休みなどの長期休暇に利用される障がい児の方が13名おられます。放課後等デイサービスの設置については、障害者基本計画に基づき、対応したいと考えています。保護者等のご意見を参考にさせていただき、社会福祉協議会などの事業所にお受けいただけるかどうか、前向きに検討させていただきます。

2 観光交流拠点都市として発信力・実現力・現場力の引き出しに関して

問 来年の大河ドラマは長州を舞台にした、吉田松陰の妹「文」が主人公である「花燃ゆ」に決定しました。

先日、私は美祢市出身の漫画家 苑場氏の「大田・絵堂の戦いを知らずに明治維新は語れない」との思いを情報発信すべく、公明党の榎屋衆議院議員とNHKの担当責任者に面会し、維新へ藩論統一の舞台である大田・絵堂の戦いをドラマに盛り込んでいただくよう、要望書を提出しました。そこで、本市はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に関し、どのように情報発信していくお考えかお尋ねします。

答 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」は原作がなく、脚本家の方が脚本を書かれて作られます。したがって、脚本の中に「大田・絵堂の戦い」などを入れていただける可能性もあります。我々もNHKの方に山口県観光連盟を通じて、「大田・絵堂の戦い」や本市の史跡などを盛り込んでいただきたいことを要望しており、また県も、オール長州で動いています。



◀花燃ゆ 提出要望書

3 人口減少社会に歯止めをかける晩婚化、未婚化対策に関して

問 内閣府が行った未婚男女の意識調査の結果から、近年の少子化は、ライフスタイルの多様化や出会いの機会が少ないことが一因であることがうかがえます。

長門市では、「縁結び大使」を募集していますが、本市において、このような支援策を行うお考えがありますか。

答 本市では、結婚応援事業として、平成21年度より「ハッピーウエディング支援事業」を行っています。

長門市が本年から取り組まれている事業の内容は、独身の男女を引き合わせ結婚への相談に対して、アドバイスやサポートしていただく方を市民から公募し、「縁結び大使」として登録、一組の婚姻に対して10万円を支給するというものです。

本市での「縁結び大使」の実施については、他自治体の取り組みを参考にしながら、調査、検討してまいりたいと考えています。

委員会報告

教育経済委員会

平成26年9月4日

問 事業者に対する新規融資制度について、本市には現行の融資制度があるのに、なぜ新制度を創設する必要があるのですか。

答 現行制度を改正すると、制度自体の複雑化を招きます。さらに時限的な制度とすることから、新たに創設するものです。

問 世界ジオパーク推進課の現在の取り組み状況をお尋ねします。

答 平成27年の日本ジオパークネットワークへの加盟申請に向けて諸活動を展開しています。活動内容としては、ジオパークだよりを毎月発行、また各種行事への参加の呼び掛けなどを行っており、この行事への参加を通して、市内外の皆様にジオパークへの思いを強めていただきたいと考えています。

問 秋芳洞の入洞者の状況と今後の事業展開についてお尋ねします。

答 今年度も夏の天候不順の影響などにより、入洞客の減少傾向に歯止めがかかっていません。特に団体客の減少が目立っていることから、県観光連盟と連携し、団体客数の回復と個人客の増加を目指しています。

また、事業展開としては、県が現在取り組まれている明治維新、幕末維新150周年に向けたプロモーション活動に乗り遅れることなく、本市の史跡や資産を全国にPRして、集客に努めたいと思っています。



総務民生委員会

平成26年9月5日

問 介護老人保健施設グリーンヒル美祢や訪問看護ステーションの今後の運営について、施設を拡張する考えはありますか。

答 訪問看護ステーションについては、国の方針が在宅医療の方向にシフトしていますので、将来は少し拡張していきたい考えもあります。

グリーンヒル美祢の拡張については現時点では考えていません。

問 病院における医療機器の導入計画は、どのようになっていますか。

答 高額の医療機器については、今まで購入した機器の償還を考慮し、予算額と収支のバランスを取りながら購入していきたいと考えています。

問 患者さんの要望やニーズの把握はどのようになっていますか。

答 患者さんの要望を把握するために、ご意見箱を設置しています。

問 水道事業に関わる長期財政計画はどのようになっていますか。

答 本市は補填財源が少なく、水道料金収入も減少していく傾向にあり、限られた水道事業会計で必要な事業を推進していくことは、財政的に不可能な状況です。今後、硬度低減に係る大きな費用を伴うため、財政計画の立て直しが必要だと考えています。

問 アセットマネジメント(水道事業に係る資産管理)はどのようになっていますか。

答 施設等の更新計画は優先度、老朽度、資産との関わりで計画を立てており、施設の統廃合により効率的な管理運営に努めています。

問 有害鳥獣被害防止対策事業の地元負担は、どの程度ですか。

答 この事業は、実施主体である有害鳥獣対策協議会が防護柵等の原材料を購入し、地元を支給するものであり、防護柵等の設置費用については地元負担をお願いします。

問 第三セクター改革推進事業について、本年8月5日付けの国の指針に基づき設置される経営検討委員会に招聘する外部の専門家とは、どのような方ですか。また、この検討委員会の実施時期と設置目的についてお尋ねします。

答 この検討委員会は市長の諮問機関であり、委員には弁護士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士等を考えています。美祢市版の指針を策定し、来年度以降も引き続き三セクの経営状況の確認等を行っていただきたいと考えています。

問 美祢あきない活性化応援事業について、事業対象区域を拡大する必要があると思いますがどのようにお考えですか。

答 事業対象区域は、市役所本庁、各総合支所並びに公民館を中心とする概ね半径500メートル以内と定めています。対象区域の範囲拡大については、現在協議を行っています。

問 学校給食調理場の統廃合に関する今後の方針をお尋ねします。

答 美祢市第1次総合計画及び行政改革大綱に基づき、単独調理場は廃止し共同調

理場化を進め、学校の再編統合の進捗を踏まえながら、更なる統合を推進したいと考えています。

問 美祢駅に展示コーナーを設けて情報発信を行うとのことですが、どのように展開されますか。

答 美祢駅は学生の利用が多いことから、ジオパーク等の教育的なものの展示、さらにミネコレクション等の地元産品など、多くの方が本市の情報に触れる機会を提供したいと考えています。

問 小中学校の再編統合について、現在の状況と今後の取り組みについてお尋ねします。

答 今年2月に策定した小中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、5～6月にかけて地域説明会を開催しました。市内中学校については9～10月にかけて保護者の方からの意見をお伺いする予定です。その保護者の意向を基に、さらに地域の方に対して、小中学校の再編統合の必要性などについて説明したいと考えています。



問 観光客が減少しているが、観光を含めた市全体的な視点から長期的戦略と具体的な戦術についてお伺いします。

答 台湾や韓国からの観光誘客に取り組む、外国人観光客数が5年前の10倍になるという成果を上げています。今後は、さらに多くの外国人観光客を導き入れるための取り組みを実施するとともに、六次産業化の推進やジオパークなども絡めることにより、観光産業の裾野の広さを活かし、地域への経済効果に繋げ

ていきたいと考えています。

問 合併算定替えによる交付税の減額を控え、今後の財政をどのようにコントロールされるお考えですか。

答 財政状況は健全堅調に推移しています。これは合併算定替えの交付税減額を見越し、市民の皆様のご理解をいただきながら財政規律を保ってきた結果です。引き続き財政コントロールについては力を入れていきたいと考えています。

議会改革推進特別委員会 平成26年9月10日

9月10日(水)本特別委員会を開催し、議員定数の適正化に関する事項、及び議会改革の推進に関する事項について、同日各分科会を開催しました。

議員定数の適正化に関する分科会は、協議の結果、委員から出た意見や資料を各会派に持ち帰り、市民の皆さんのご意見を収集のうえ、次回の分科会で議論することになりました。

また、議会改革の推進に関する分科会では、分科会の役割確認と審査事項の論点を整理をするため、様々な意見交換が行われました。その中

で、議会運営の方向性、議会と執行部の関係、行政視察のあり方、一般質問のあり方、地方自治法第92条の2(議員の兼業禁止)に関する事、さらに、議会基本条例、政治倫理条例の改正についてなど、多くの課題が抽出されました。次回は、これらを集約して議論することになりました。

9月26日(金)本特別委員会を開催し、分科会の経過報告を行いました。この経過報告に対する委員の意見を含め、次回の分科会でしっかり議論を深めるよう、各分科会座長に依頼し、閉会しました。



平成26年第4回(12月)定例会は、右表のように予定しています。市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。正式な日程は、11月21日(金)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日程	時間	内容(予定)
11月28日(金)	14:00	本会議
12月1日(月)	10:00	本会議(一般質問)
12月2日(火)	10:00	本会議(一般質問)
12月3日(水)	9:30	教育経済委員会
12月4日(木)	9:30	総務民生委員会
12月5日(金)	9:30	予算委員会
12月8日(月)	9:30	議会改革推進特別委員会(分科会)
12月12日(金)	9:30	議会改革推進特別委員会
12月19日(金)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

編集委員会は全会派から一人ずつ選出された委員で構成されており、委員長を中心に公平正確でわかり易い紙面となるよう心がけています。今後も編集委員のみならず全議員の協力のもと、議会情報を市民の皆様にはわかりやすくお伝えしたいと思っておりますが、紙面の関係で全てをお伝えすることができません。市民の皆様には公開されているMYTや議事録なども合わせてご覧いただくと幸いです。(猶野)

議会だより編集委員会

委員長 萬代 泰生
副委員長 猶野 智和
委員 山中 佳子
委員 三好 睦子
委員 岡山 隆
委員 俵 薫

発行 / 美祢市議会

編集 / 議会だより編集委員会

美祢市議会事務局

〒759-2292 美祢市大嶺町東分326-1
TEL.0837-52-1117 FAX.0837-52-1180



美祢市ホームページ <http://www2.city.mine.lg.jp/>